

第 64 回 挑戦（新春学長メール Vol.10）

おはようございます。
長崎大学人、河野茂です。

今回、皆さんから多くの返信を頂きました。
大変うれしかったです。匿名にて、一部ご紹介します。

あるシニア職員からは、
趣味のスポーツを通して、様々な人と交流し、若い方にも教えるようになり、「平常心」を
モットーに活動にのぞんでいるとありました。
同様に武道やスポーツが趣味の方から、「平常心」の重要性や、「道」についてのコメントが
たくさんありました。
非常に、奥深く、私も勉強になりました。それぞれ、皆さんが、人生において、自分の道に
向き合っていることがよくわかりました。

また、ある職員からは、
仕事上で、ミスを犯したが、そこには「基本」をおろそかにした自分がいたことに気づいた
とありました。深く反省し、自分の仕事の仕方や生き方を見直したいという趣旨でした。
同様のメールは他の職員からもありました。私のメールがきっかけで、仕事や人生における
「自分の基本とすべきこと」を確認できたのは、すこしは役に立っていると思い私もうれし
かったです。

「継承」というテーマには、何人かの教員から返信をもらいました。
やはり、年齢を重ねるにつれて、何を学生へ伝え残してゆくのかを考えることは、教員とし
てはしごく当然ということでしょうか。
残された教員人生の中で、伝えることと大切さを感じている方はとても多いと思いました。

趣味に関するメールもいくつかいただきました。
素晴らしい俳句も頂きました。ウォーキング、ランニング、旅についての楽しいメールも頂
きました。
残念ながら、書道を趣味とする人からのメールは少なかったですね。

今回は、皆さんからのメールで私が感じたことは、ひとりひとりが、真剣に、自分の仕事と
自分の人生に向き合っている、ということでした。
もちろん、良いことばかりではありあせん、どちらかというと、人生も仕事も、困難ばかり

です。

でも、その困難に、ひとりひとりが、立ち向かっているということをメールの中で感じました。

自分自身に、前向きに挑戦している気持ちが伝わってきました。

長崎大学丸の乗組員は、素晴らしい、頑張っていると心から思い、船長として、これからもしっかりと舵をとっていかなければならない、と改めて思い直しました。

今回のメール発信はこれで最後です。次回は、春または夏頃を考えております。

学生のみなさん、教職員の皆さん、読んでくれてありがとう。多くの元気を頂きました。

これからも、お互い、自分自身に挑戦してゆきましょう。